SCIEX OS 2.2 ソフトウェア

ソフトウェアインストールガイド

RUO-IDV-02-7371-JA-N

2021 年 11 月

本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.

AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

目次

第 1 章 : はじめに 5
インストールの前に知っておくべき重要な情報 5
パッチとホットフィックス 6

第 2 章 : 要件 8
測定用コンピュータの要件 8
オペレーティングシステム要件 8
ネットワーク要件 9
ソフトウェアの要件 10
ライセンス要件 10
互換性のあるシステム 10
互換ソフトウェア 11

第 3 章 : インストール方法 12
安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ 12
ソフトウェアのインストール 12
ソフトウェアのアップグレード 14
SCIEX OS 1.3 からのアップグレード 14
以前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレード 16
Analyst ソフトウェアから移行 16
オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール 17
旧バージョンのソフトウェアへのダウングレード 18

第 4 章 : MS FW Updater ユーティリティの実行 19

第 5 章 : 電子ライセンス 22
SCIEX OS のノードロックライセンスの有効化 22
サーバーベースのライセンスの有効化 24

第 6 章 : トラブルシューティング 25
インストールのトラブルシューティングのヒント 25
インストールのクリーンアップ 26

付録 A : 質量分析装置のファームウェアバージョン 29

付録 B : デバイスとファームウェア 30

付録 C : Windows オペレーティングシステム設定 36
Windows の更新 36
システムの復元 36
ユーザーアカウント制御の設定 37
ユーザーアカウント制御の設定（Windows 7） 37
ユーザーアカウント制御の設定（Windows 10） 38
地域と言語設定 40
地域と言語の設定（Windows 7） 40
地域の設定（Windows 10） 41
言語の設定（Windows 10） 42
ローカル設定 43

付録 D : SCIEX OS ドキュメント 45

お問い合わせ先 47
お客様のトレーニング 47
オンライン学習センター 47
SCIEX サポート 47
サイバーセキュリティ 47
ドキュメント 47

はじめに 1

本ガイドでは、SCIEX OS 2.2 ソフトウェアのインストールに関する情報と手順について説明します。本ガイドには対応している装置／ファームウェアについての情報に加え、インストールのトラブルシューティングに関するヒントも記載されています。

ソフトウェアの新機能、強化機能、既知の問題については、ソフトウェアパッケージに付属の*リリースノート*を参照してください。

インストールの前に知っておくべき重要な情報

SCIEX OS をインストールまたはアップグレードをする前に本ガイドをお読みください。

注: アップグレードに先立ち SCIEX OS データフォルダを安全な場所にバックアップします。詳細な情報については、次のセクションを参照：安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ。これらのフォルダには装置設定、セキュリティデータ、メソッド、バッチなどが含まれています。

ソフトウェアのインストールを適切に完了できるよう、本ガイドの手順を実施する際には必ず以下の点に注意してください。

- SCIEX OS 2.2 で作成されたデータファイルは、他のバージョンのソフトウェアと互換性がありません。
- SCIEX OS では電子ライセンスを使用します。詳細については、次のセクションを参照：電子ライセンス。
- SCIEX OS の全バージョンで、正規のソフトウェアライセンスが必要です。これらのライセンスは新たに購入した機器に付属しているほか、SCIEX から別途購入することも可能です。現在のライセンスの有効性についてのご質問、あるいは追加ライセンスの購入については、SCIEXsciex.com/request-supportsciex.com/request-support 営業担当者またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。
- SCIEX OS 2.2 データファイルは SCIEX OS の前バージョンでは開けませんが、SCIEX OS の前バージョンで取得したデータは、SCIEX OS 2.2 で開けます。
- SCIEX OS 2.2 で作成した Results Table は、SCIEX OS の前バージョンでは開けませんが、SCIEX OS の前バージョンで作成された Results Table は SCIEX OS 2.2 で開けます。
- SCIEX OS の前のバージョンでサポートされていた装置はすべて SCIEX OS 2.2 でも引き続きサポートされます。次のセクションを参照：デバイスとファームウェア。
- SCIEX OS 2.2 は、Web ダウンロード パッケージとして入手できます。DVD が必要な場合は、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。
- Analyst または Analyst TF を実行しているコンピュータに SCIEX OS がインストールされている場合、インストールを開始する前に、ハードウェアプロファイルを非有効化し、Analyst または Analyst TF ソフトウェアを閉じます。
- SCIEX OS と他のソフトウェアアプリケーションとの互換性の詳細な情報については、次のセクションを参照：互換ソフトウェア。

パッチとホットフィックス

SCIEX OS 2.2 には、これらのパッチとホットフィックスの機能が含まれています。パッチまたはホットフィックスがインストールされている場合、それらはソフトウェアのインストール中に削除されます。

SCIEX OS 2.1.6

- SCIEX OS 2.1.6 通信問題のパッチ
- SCIEX OS 2.1.6 速度低下の問題に対するパッチ
- SCIEX OS 2.1.6 ホットフィックス 1
- SCIEX OS 2.1.6 ホットフィックス 2

SCIEX OS 2.0.1

- SCIEX OS 2.0.1 Patch for Agilent のカスタムウェルプレート
- SCIEX OS 2.0.1 Patch for Shimadzu のプレートレイアウト

SCIEX OS 2.0

- SCIEX OS 2.0 Patch for Agilent の測定の問題

SCIEX OS 1.7

- SCIEX OS 1.7 速度低下の問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 ドイツの OS に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 ネットワークの問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 問題の報告に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 速度低下の問題に関するパッチ

SCIEX OS 1.6.10

- SCIEXOS1.6.10 Echo MS システムに関するパッチ

SCIEX OS 1.6.2

- SCIEX OS 1.6.2 報告に関するパッチ
- SCIEX OS 1.6.2 速度低下の問題に関するパッチ

SCIEX OS 1.6.1

- SCIEX OS 1.6.1 チェックサムの問題の処理に関するパッチ

SCIEX OS 1.5

- SCIEX OS 1.5 Chemspider API 更新に関するパッチ

- SCIEX OS 1.5 Chemspider データ問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.5 電子署名の問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.5 処理の問題に関するパッチ

要件 2

測定用コンピュータの要件

本ソフトウェアは、次のコンピュータをサポートしています。

- SCIEX ワークステーションまたは Workstation+、以下搭載：
  - Intel Core I5-8500 プロセッサ（8 コア、16.5 MB キャッシュ、3.9 GHz、4.5 GHz ターボ、NVIDIA P400 または T400 を搭載）
  - 32 GB (2 × 16 GB) 2666 MHz DDR4 UDIMM Non-ECC
  - SCIEX Workstation: 2 × 1 TB HDD (RAID1)
  - SCIEX Workstation+: 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- SCIEX Alpha Workstation 2020 は、以下を搭載しています。
  - Intel Core I5-8500 プロセッサ（6 コア、9 MB キャッシュ、3.0 GHz、4.1 GHz ターボ、HD グラフィックス 630）
  - 32 GB (2 × 16 GB) 2666 MHz DDR4 UDIMM Non-ECC
  - 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- • Dell OptiPlex XE2 コンピュータ、下記を装備：
    - Intel Core I5-4570S プロセッサ（クアッドコア、2.90 GHz、6 MB、HD グラフィックス 4600）
    - 32 GB DDR3 1600 MHz SDRAM
    - 2 × 2 TB HDD (RAID1)

注: より新しいコンピュータモデルを使用できる場合があります。最新の情報については、最寄りの営業担当者にお問い合わせください。

測定用コンピュータには、少なくとも 2 つの Ethernet ポート接続も必要です。

SCIEX OS-MQ の場合、これらのコンピュータは最低 8 GB の RAM で使用できます。

仕様の低いコンピュータは SCIEX OS 2.2 データの処理に使用できますが、データの取得には使用できません。

オペレーティングシステム要件

- オペレーティングシステム：Windows 7、64 ビットまたは Windows 10、64 ビット、HotFix 2

測定については、英語のオペレーティングシステムのみがサポートされています。処理（SCIEX OS-Q および SCIEX OS-MQ）では、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のオペレーティングシステムがサポートされています。

- 言語設定: 英語
- 地域設定：英語、フランス語、ドイツ語
- （推奨）システムの復元：無効
- Windows Updates：通知のみ

注: SCIEX OS は、Federal Information Processing Standards (FIPS)が有効なコンピュータにインストールして使用することができません(**System cryptography: Use FIPS compliant algorithms for encryption, hashing, and signing**)。

注: すべての SCIEX コンピュータには、ローカル管理者レベルのアカウント、**abservice** が設定済みです。このアカウントは、SCIEX サービスとテクニカルサポートがシステムのインストール、サービス、サポートのために使用します。このアカウントを削除したり、無効にしたりしないでください。アカウントを削除または無効にしなければならない場合は、SCIEX アクセス用の代替プランを用意し、ローカル FSE に伝えます。

注: SCIEX から提供されていないコンピュータにインストールする場合は、.NET Framework 4.x がコンピュータにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストール パッケージにある `Install/NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exe` を実行してから SCIEX OS をインストールしてください。

ネットワーク要件

ソフトウェアアップデート機能には以下の追加要件があります。

- 外部接続は、ポート 443 で HTTPS プロトコルを使用して有効になっていること。
- ファイアウォールが https://sciexos.com を含む SCIEX OS から AWS への送信方向の通信を許可する設定になっていること。
- Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降がインストールされていること。

  注: Windows 7 を搭載したコンピュータは、TLS のバージョンが古い場合があります。アップグレードするには、Microsoft Update KB3140245 をインストールしてください。Windows 10 には TLS 1.2 以降が含まれています。

ローカルネットワーク管理者に連絡し、上記の要件が満たされていることを確認してください。

注: ソフトウェアアップデート機能が SCIEX と通信できない場合は、ローカルネットワーク管理者に連絡して、ポート 443 が開いていること、またトランスポート層セキュリティ（TLS） 1.2 がコンピュータにインストールされていることを確認してください。

このバージョンの SCIEX OS は、企業プロキシサーバー経由でのインターネット通信をサポートしていません。

ソフトウェアの要件

Analytics ワークスペースのレポート機能には、Microsoft Office 2013 または 2016（32 ビットまたは 64 ビット）が必要です。

注: SCIEX OS は Microsoft Office 365 と互換性があります。

ライセンス要件

SCIEX OS 2.2 ソフトウェアを使用するには、SCIEX OS 2.2 ライセンスをアクティベートする必要があります。

互換性のあるシステム

以下のシステムは、SCIEX OS 2.2 と互換性があります。

表 2-1：サポートされている質量分析装置とイオン源

質量分析装置	サポートされているイオン源
X500R QTOF または X500B QTOF システム	Turbo V イオン源
ZenoTOF 7600 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 4500 システム	Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 5500 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 5500+システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 6500 システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 6500+システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 Turbo V イオン源
SCIEX Triple Quad 7500 System – QTRAP Ready	OptiFlow Pro イオン源

互換ソフトウェア

以下のアプリケーションは、Windows 7 および Windows 10 オペレーティングシステム上で SCIEX OS 2.2 に対応しています。

表 2-2 : 互換ソフトウェア

ソフトウェア名称	その他の情報
Biologics Explorer ソフトウェアバージョン 1.0	—
BioPharmaView ソフトウェアバージョン 2.1、3.0、3.0.1、または 3.0.2	BioPharmaView ソフトウェアのバージョン 2.1 は、Windows 7 オペレーティングシステムとのみ互換性があります。バージョン 3.0 以降は、Windows 7 および Windows 10 オペレーティングの両方と互換性があります。
BPV Flex ソフトウェアバージョン 1.0.1、2.0、2.1	—
CloudConnect バージョン 1.7	—
LibraryView ソフトウェアバージョン 1.4	SCIEX OS は、LibraryView ソフトウェアバージョン 1.0.x または 1.1 から 1.3 と共存できません。
MarkerView ソフトウェアバージョン 1.3.1	—
MetabolitePilot ソフトウェアバージョン 2.0.4	—
Molecule Profiler ソフトウェアバージョン 1.1	バージョン 1.1 のライセンスが必要です。
OneOmics スイートバージョン 3.2	—
StatusScope リモートモニタリングサービスのバージョン 2.2 2.2	—

注: SCIEX OS は、Analyst ソフトウェアバージョン 1.6.3 以降および Analyst TF ソフトウェアバージョン 1.7.1 以降と共存することもできます。

注: SCIEX OS は、Cliquid または MasterView ソフトウェアと共存できません。

インストール方法 3

安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ

SCIEX OS をアップグレードする前に、ネットワークドライブや DVD などの安全な場所へフォルダをバックアップします。

- **`SCIEX OS Data`**:このフォルダには、すべてのメソッド、バッチ、データが含まれています。初期設定では、このフォルダは `D:\SCIEX OS Data` にインストールされています。
- **`C:\ProgramData\SCIEX`**:このフォルダにはセキュリティおよびデバイス構成データがすべて含まれています。

注: これは隠しフォルダです。表示されない場合、隠れたアイテムを表示するように File Explorer を設定します。

バックアップソフトウェアでロックされたファイルに遭遇した場合、そのファイルは無視します。

注: SCIEX OS の前バージョンに戻るには、バックアップが必要となります。バックアップがなく、SCIEX OS の前バージョンを再インストールする場合、全メソッドの再作成とセキュリティの再設定が必要となります。

既存の `SCIEX OS Data` フォルダの名前は変更しないでください。メソッド、バッチ、データ、Results Table へのアクセスを提供するために、SCIEX OS の新バージョンにも同じ `SCIEX OS Data` フォルダを使用することを推奨します。

ソフトウェアのインストール

前提条件
• SCIEX OS ライセンスキーが利用可能であることを確認してください。ライセンス キーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの電子メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の営業担当者にお問い合わせください。 • Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。 • Windows Update 後に再起動が必要な場合は、インストールを開始する前にコンピュータを再起動してください。

注: VC++2008 SP1 MFC セキュリティ再配布可能パッケージも必要です。存在しない場合は、インストールプログラムによってインストールされます。削除しないでください。これを削除すると、ExionLC 2.0 システムを使用したときに SCIEX OS が正しく機能しなくなります。

ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、必ず正規の SCIEX DVD からソフトウェアをインストールし、インストール後には正しいバージョンがインストールされていることを確認してください。

注: インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にします。

1. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. すべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. DVD からソフトウェアをインストールするには、DVD ドライブに DVD をロードします。
4. ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。
   a. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

      ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

   b. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
5. (X500 QTOF`Drivers` システム) DVD またはインストールパッケージのフォルダを参照し、`xTDC4_driver_v1.1.0.exe` をダブルクリックしてバージョン 1.1.0 をインストールします。
6. (ZenoTOF システム) DVD またはインストールパッケージの Drivers フォルダを参照し、`ndigo_driver_v1.3.0.exe` をダブルクリックしてバージョン 1.3.0 をインストールします。
7. DVD またはインストールパッケージ内の `Setup.exe` をダブルクリックします。
8. 画面上の指示に従ってください。

   初期設定時は、SQL サーバーをインストールする必要があるため、数分間かかる場合があります。

   注: インストールの問題発生を回避するため、ソフトウェアをローカルドライブにインストールします。ネットワークやリムーバブルドライブ上にインストールしないでください。

   注: インストールの問題を回避するために、インストールフォルダへのパスが 118 文字以下であることを確認してください。それより長い場合、インストールは続行されません。

   ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。
9. (オプション)ソフトウェアがインストールされたら、コンピュータを再起動します。

   注: ソフトウェアを初めてインストールした場合は、再起動をお勧めします。再インストールの場合、再起動は不要です。
10. ソフトウェアを開きます。
11. ソフトウェアにライセンスを付与して有効化します。次のセクションを参照:電子ライセンス。

（サポートされている正確で名目質量システム）SCIEX OS 2.2 LibraryView ソフトウェアのライセンスが含まれている場合、LibraryView ソフトウェアを別途インストールする必要があります。

Bio Tool Kit、ChemSpider、Intact Quant、および Auditing 機能には別途ライセンスが必要です。これらの機能を使用する前に、必ずライセンスを取得してください。

12. （必要に応じて）測定用コンピュータの場合、MS FW Updater Utility を実行して、MS ファームウェアと機器設定テーブルを更新します。次のセクションを参照：MS FW Updater ユーティリティの実行。

ソフトウェアのアップグレード

2.2 よりも前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレードには、ソフトウェアの新規ライセンスが必要になります。

SCIEX OS 1.3 からのアップグレード

前提条件

- Results Table に **IF** という名前のカスタム列が含まれている場合は、列名を変更します。
- コンピュータにインストールされているすべての特定業種向けのアプリケーションのバージョンがサポートされていることを確認してください。サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照：互換ソフトウェア。必要に応じて、SCIEX OS をアップグレードする前に、特定業種向けのアプリケーションを更新します。次のセクションを参照：オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール。

  注: LibraryViewSCIEX OS バージョン 1.4 がインストールされていることを確認してください。

- Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update のアップデート後に再起動が必要な場合は、アップグレードを開始する前にコンピュータを再起動してください。

インストールプログラムは、このバージョンに内蔵されているパッチを警告なしで削除します。これらのサポートのリストについては、次のセクションを参照：パッチとホットフィックス。

注: いくつかのステップは、完了するまでに時間がかかることもあります。

1. 装置を無効化してから SCIEX OS を閉じます。
2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. `C:\ProgramData\SCIEX` フォルダをバックアップします。次のセクションを参照：安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ。
4. （SCIEX OS 1.4 からのアップグレードの場合）監査証跡機能が使用されている場合、以下の手順を行ってワークステーション監査データを保存します。

a. フォルダ `C:\ProgramData\SCIEX` に移動して、`Audit Data` という名前のフォルダを作成します。新しいフォルダに対し、システム、ユーザー、管理者の読み取り/書き込みのアクセス権を付与します。

b. `SCIEX OS Data\common-project-area-Audit Data` に移動し、次のファイルをコピーします。

- WorkstationAuditMap.atms
- WorkstationAuditMapTemplates.atms
- WorkstationAuditTrailData.atds

注: デフォルトでは、SCIEX OS Data は D:\にインストールされます。

c. ファイルを `C:\ProgramData\SCIEX\Audit Data` に貼り付けます。

5. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
6. 測定用コンピュータについては、次の手順を実行します。
   a. 現在インストールされている SCIEX OS を開きます。
   b. MS Tune ワークスペースを開きます。
   c. **Positive MS Tuning** をクリックします。
   d. 左側のパネルの **Save Tuning Settings** をクリックし、次に **Save Settings** をクリックします。
7. SCIEX OS データフォルダのバックアップを実施します。次のセクションを参照:安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ。
8. 次のいずれかの操作を行います。
   - ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入して、手順 12 に進みます。
   - ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールする場合は、手順 9 に進みます。
9. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

10. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
11. (X500 QTOF システム)DVD のドライバーフォルダまたはインストールパッケージを参照して、**xTDC4_driver_v1.1.0.exe** をダブルクリックし、TDC4 ドライバーのバージョン 1.0.3 をアンインストールしてからバージョン 1.1.0 をインストールします。
12. DVD またはインストールパッケージ内の **Setup.exe** をダブルクリックします。
13. 画面上の指示に従ってください。

SQL サーバーをインストールする必要がある場合、初期セットアップには数分かかることがあります。

ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

注: インストールが失敗した場合は、インストールのクリーンアップの手順を実行します。

14. (必要に応じて)測定用コンピュータでは、MS FW アップデートユーティリティを実行して MS ファームウェアと機器設定テーブルを更新します。次のセクションを参照:MS FW Updater ユーティリティの実行。
    サポートされているファームウェアバージョンについては、次のセクションを参照:質量分析装置のファームウェアバージョン。

以前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレード

バージョン 1.3 よりも前のバージョンの SCIEX OS からアップグレードするには、前のバージョンの SCIEX OS をアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

1. 装置を無効化してから SCIEX OS を閉じます。
2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. `C:\ProgramData\SCIEX` フォルダをバックアップします。次のセクションを参照:安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ。
4. Windows のアプリと機能のコントロールパネルで、SCIEX OS を削除します。
5. SCIEX OS 2.2 をインストールします。次のセクションを参照:ソフトウェアのインストール。
6. 特定業種向けのアプリケーションをアップグレードします。次のセクションを参照:オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール(垂直アプリケーションのアップグレードについての情報)。

Analyst ソフトウェアから移行

前提条件
• SCIEX Now Learning Hub で入手可能な *SCIEX OS eLearning* を完了します。 • 測定用コンピュータが SCIEX OS の要件を満たしていることを確認してください。 • SCIEX OS ライセンスを購入します。

Analyst ソフトウェアを使用して SCIEX Triple Quad4500、5500、5500 +、6500、および 6500+システムからデータを取得するお客様は、SCIEX から入手できる新しい質量分析ソフトウェアである SCIEX OS にアップグレードできます。アップグレードサービスは SCIEX から利用できます。詳細な情報については、sciex.com/request-support までお問い合わせください。

注: SCIEX は、Analyst ソフトウェアと SCIEX OS の両方を使用して同じ質量分析装置からデータを取得するワークフローをサポートしていません。

1. SCIEX OS 2.2 をインストール。次のセクションを参照:ソフトウェアのインストール。
2. Instrument Settings Converter を使用して、質量分析装置の設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS にインポートします。*Instrument Settings Converter リリースノート*のドキュメントを参照してください。

   ヒント! リリースノートは、SCIEX OS インストールパッケージの `Tools\InstrumentParametersConverter` フォルダにあります。

   注: SCIEX OS 2.2 インストールパッケージで配布されているバージョンの Instrument Settings Converter を使用します。

3. SCIEX OS の MS Method ワークスペースで **Convert file** コマンドを使用して、Analyst ソフトウェアで作成された MS メソッドをインポートし、SCIEX OS 形式に変換します。

   注: MS メソッド情報のみが変換されます。LC メソッドは、SCIEX OS で手動で再作成する必要があります。

4. SCIEX OS で転送された設定を確認して、適切であることを確認します。

   ヒント! MS Tune ワークスペースの **MS Scan Tuning** 手順の **Verify MS scans** オプションを使用して、設定を確認します。インストールされている制御ソフトウェアに関わらず、予測結果は同じになります。

オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール

SCIEX OS をインストールした後に、下記のオプションのアプリケーションをインストールします。

- BioPharmaView ソフトウェア
- MarkerView ソフトウェア
- LibraryView ソフトウェア

注: サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照:互換ソフトウェア。

SCIEX OS の後にアプリケーションがインストールされていない場合は、SCIEX OS をインストールしてもホームページ上にソフトウェアが表示されません。

SCIEX OS 1.3 以降をアップグレードする際は、BioPharmaView または MarkerView ソフトウェアをアップグレードする必要はありません。以前のバージョンからアップグレードする際は、それらのオプションがアップグレードされなければなりません。

注: 新しいバージョンのアプリケーションが利用可能な場合は、sciex.com/request-support に連絡してソフトウェアの互換性を確認してください。

1. SCIEX OS をインストールします。
2. SCIEX OS が閉じていることを確認してから、BioPharmaView、BPV Flex、MarkerView、または LibraryView ソフトウェアをインストールします。
3. アプリケーションのインストールの詳細な情報については、各リリースノートを参照してください。

旧バージョンのソフトウェアへのダウングレード

この手順に従って、SCIEX OS 2.2 から SCIEX OS バージョン 1.6.1 以降にダウングレードします。以前のバージョンの SCIEX OS にダウングレードするには、sciex.com/request-support にお問い合わせになり、ソフトウェアの現在のバージョンからのダウングレードについてサポートを受けてください。

1. Windows のアプリと機能のコントロールパネルで、SCIEX OS2.2 を削除します。
2. 2014 年から 2019 年までのすべての Microsoft C++再頒布可能ファイルを削除します。
3. 以前のバージョンの SCIEX OS をインストールします。

注: インストールに失敗した場合は、クリーンアップの手順を実行してください。次のセクションを参照：インストールのクリーンアップ。

MS FW Updater ユーティリティの実行　4

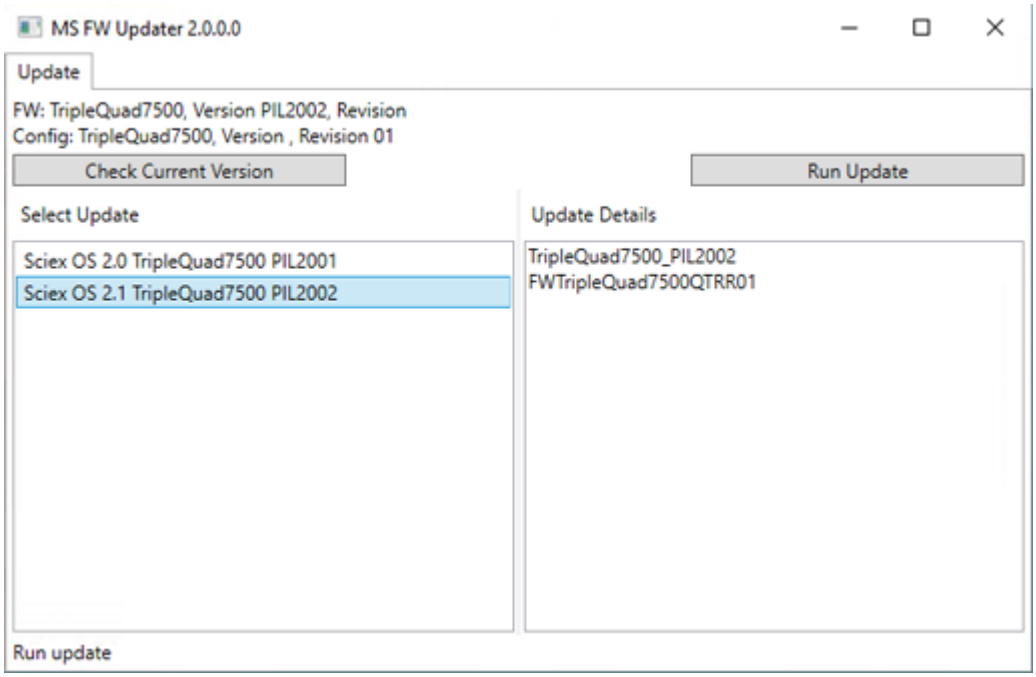
SCIEX OS では、サポートされているファームウェアバージョンが接続された質量分析装置にインストールされている必要があります。このユーティリティを使用して、質量分析装置のファームウェアバージョンをアップグレードします。

サポートのリストについては、次のセクションを参照：質量分析装置のファームウェアバージョン。

前提条件
• SCIEX OS バージョン 2.2 以降がインストールされている。 • 質量分析装置は、装置ワークスペースでアクティブである。 • コンピュータが、質量分析装置に接続されている。 • ユーティリティの実行者が、Windows の管理者ならびに SCIEX OS ユーザーデータベースの管理者としてログインしている。

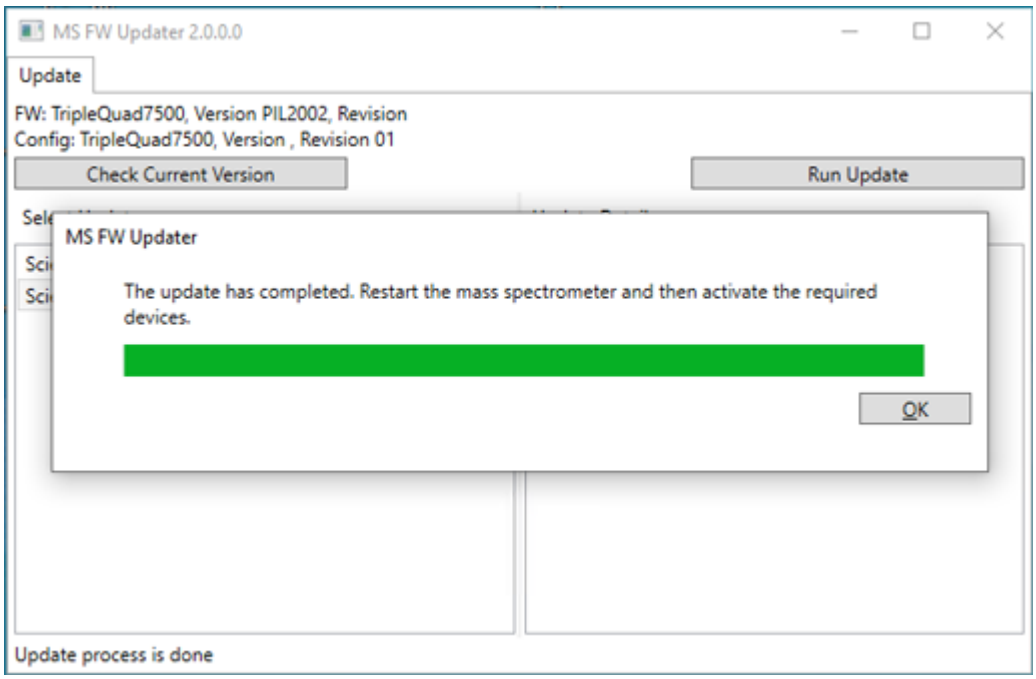
1. すべてのデータ取得を停止してから、キューをクリアします。
   キューに待機中のサンプルがあってはなりません。
2. SCIEX OS を閉じます。
3. MS FW Updater ユーティリティを実行するには、SCIEX OS パッケージを抽出し、`\FirmwareUpdater\`フォルダを参照して、**MS FW Updater.exe** をダブルクリックします。

図 4-1 : MS FW Updater ユーティリティ



4. **Select Update** リストで、質量分析装置とソフトウェアのバージョンを選択します。
5. **Run Update** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

図 4-2 : MS FW Updater 進捗バー



6. 更新が完了したら、進捗バーの **OK** をクリックして、ユーティリティを閉じます。

7. 30 秒待ち、質量分析装置を再起動します。*システムユーザーガイド*のドキュメントを参照してください。
8. SCIEX OS を開いてから、装置ワークスペースを開きます。
   質量分析装置はリストから削除されています。
9. 装置リストに質量分析装置を追加してから、必要な装置を有効化します。

注: SCIEX OS のイベントログは、ファームウェアが正常に更新されたことを示します。

MS FW Updater ユーティリティを使用して、SCIEX OS の以前のバージョンによってサポートされているファームウェアバージョンに戻すことができます。Firmware Updater ユーティリティを再度実行し、必要なバージョンを選択して **Run Update** をクリックします。

注: （X500 QTOF システム）MS FW アップデータは、バージョン 1.2 より前の SCIEX OS バージョンでサポートされているファームウェアバージョンに戻すことはできません。 以前のバージョンに戻すには、sciex.com/request-support にお問い合わせください。

注: (SCIEX 7500 システム) MS FW Updater は、2.0 よりも前のバージョンの SCIEX OS によってサポートされているファームウェアバージョンに戻すことができません。前のバージョンの SCIEX OS は SCIEX 7500 システムをサポートしていません。

電子ライセンス 5

SCIEX OS では、取得と処理ワークステーション両方のノードロックライセンスをサポートしています。ノードロックライセンスは、1 台のコンピュータでしか使用できません。サーバーベースのライセンスは、処理ワークステーションのみ対応しています。ノードベースとサーバーベースの両方のライセンスの場合、ライセンスファイル名は SCIEX OS2.2.lic です。SCIEX OS がインストールされているコンピュータの `C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS` フォルダにライセンスファイルをインストールします。

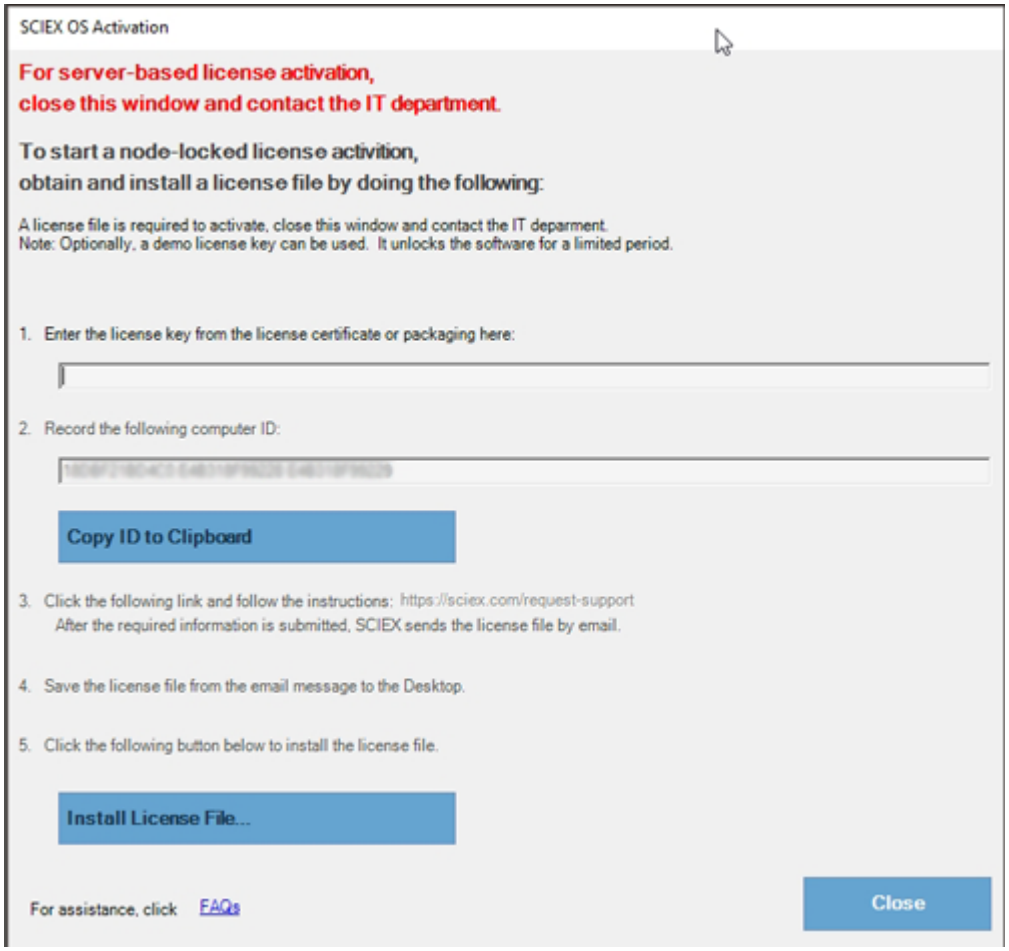
注: ノードロックライセンスとサーバーベースライセンスの両方について、ライセンスが有効化された後、コンピュータの日時を変更しないでください。コンピュータの日時を変更する場合は、ライセンスを有効化する前に実施しないと、ソフトウェアが動作しない場合があります。

注: 測定用コンピュータ用かライセンスサーバー用かに関係なく、ノードロックライセンスファイルを変更しないでください。ライセンスファイルを変更すると、ライセンスが無効になり、回復できなくなります。

SCIEX OS のノードロックライセンスの有効化

1. デスクトップの SCIEX OS アイコンをダブルクリックします。
   SCIEX OS 有効化ダイアログが開きます。ダイアログの指示に従います。ライセンスキーが必要です。

図 5-1 : ライセンスメッセージ



2. SCIEX OS 有効化ダイアログのステップ 1 で、ライセンスキーを入力します。

   ライセンスキーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの電子メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の営業担当者にお問い合わせください。

   注: ライセンスキーは、AID で始まり、ハイフンで区切られた 4 桁のコードを 8 分割した 32 文字で構成されています。

3. [SCIEX OS Activation]ダイアログで、手順 3 のリンクをクリックします。
   SCIEX Login web ページが開きます。

4. **Log In** をクリックして既存の SCIEX アカウントにログインするか、**Create an Account** をクリックします。

   アカウントの作成またはログオンが完了すると、ソフトウェア有効化用 SCIEXweb ページが開きます。フォームの最初の 3 つのフィールドには、ユーザー名、姓、および電子メールアドレスが表示されます。

   このコンピュータ上の SCIEX OS を有効化する場合は、**License Key** とフィールドにも正確な情報が入力されています。

5. **Select Your Instrument** フィールドで、必要な情報を選択して入力します。

   注: 処理ワークステーションのノードロックライセンスを有効化するには、SCIEX 機器のシリアル番号を使用します。機器のシリアル番号が利用できない場合は、SCIEX サポート（sciex.com/contact-us）にご連絡ください。

6. 別のコンピュータ上の SCIEX OS のライセンスを有効化する場合は、コンピュータ ID に、そのコンピュータをネットワークに接続するために使用するネットワークポートの MAC アドレスを入力します。ライセンスキーも入力します。
7. **Submit** をクリックします。
   ライセンスファイルが添付されたメールを送信するというメッセージが表示されます。
8. 電子メールを受信したら、付属のライセンスファイルを `C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS` フォルダに保存します。

サーバーベースのライセンスの有効化

サーバーベースのライセンスについては、IT 部署に連絡して下記を実施してください。

1. ライセンスサーバーを設定します。

   ライセンスサーバーをセットアップするには、以下のサイト：sciex.com/software-support/software-downloads の **Additional Downloads > License Server Setup** セクションにある **License Server Setup Software** へのリンクをクリックして *License-Server-Setup.zip* をダウンロードするよう、IT 部門に依頼してください。ダウンロードしたパッケージに付属している *License Server Setup Guide* の指示に従ってください。

2. クライアントコンピュータ用に SCIEX OS2.2.lic と名付けたライセンスファイルを作成します。
3. SCIEX OS がインストールされている各クライアントコンピュータに、ライセンスファイルを配布します。

トラブルシューティング 6

インストールのトラブルシューティングのヒント

エラーメッセージ	考えられる原因	修正アクション
インストールを完了できませんでした。図 6-1 を参照してください。	コンピュータにインストールされている Microsoft Visual C++ のバージョンは、SCIEX OS で配布されたバージョンより古いバージョンです。	Microsoft Visual C ++を削除してから、SCIEX OS を再インストールします。 **注:** インストールが失敗した場合は、インストールのクリーンアップの手順を実行します。
Microsoft.Practices.Prism.Regions.UpdateRegions 例外：領域オブジェクトの作成中に例外が発生しました。	コンピュータにインストールされているこのバージョンの LibraryView は、SCIEX OS と互換性がありません。	1. SCIEX OS を削除します。 2. LibraryView Framework を削除します。 3. `C:\ProgramData\SCIEX` の名前を `C:\ProgramData\SCIEX_Removed` に変更します。 4. SCIEX OS をインストールします。
Setup.exe - .NET Framework の初期化エラー。図 6-2 を参照してください。	NET Framework バージョン 4.x がインストールされていません。	インストールパッケージに含まれている `Install/ NDP472-KB4054530-x86- x64-AllOS-ENU.exe` を実行して、.NET Framework をインストールします。

図 6-1 : インストールエラー（例）

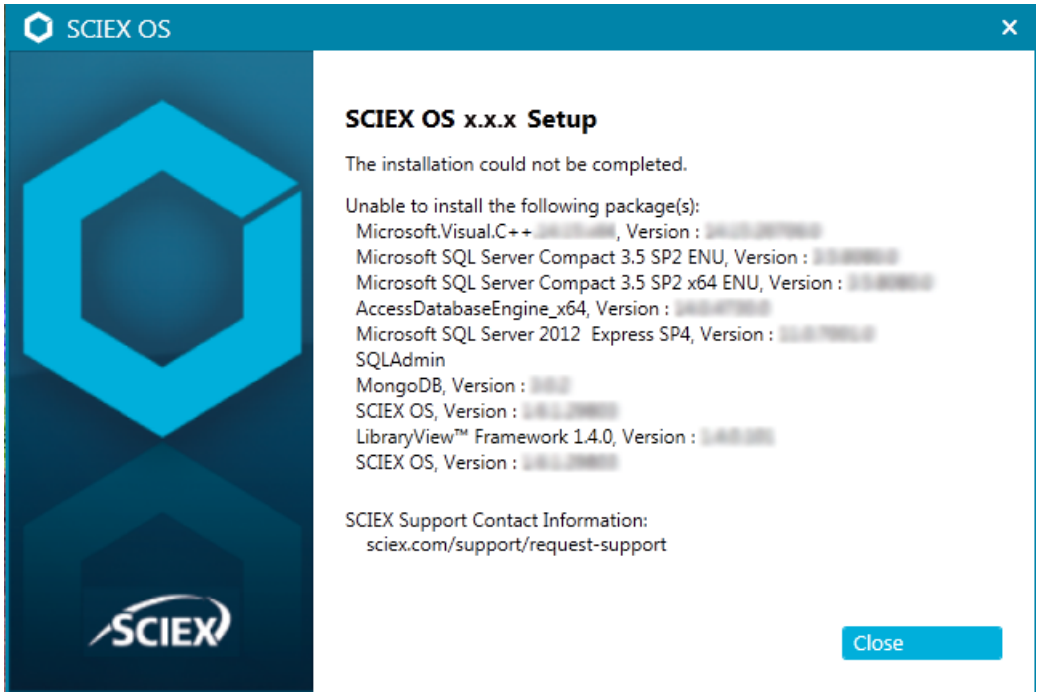
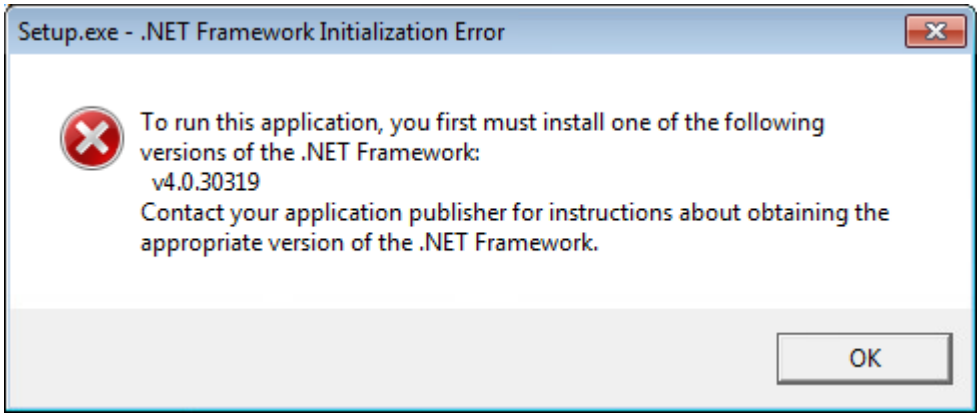


図 6-2 : NET Framework の初期化エラー



インストールのクリーンアップ

1. Windows アプリと機能のコントロールパネルで、次のアプリケーションが存在する場合は、この順序で削除します。
   - LibraryView ソフトウェア
   - SCIEX OS
   - LibraryView Framework
   - MongoDB
   - Microsoft Access データベースエンジン

- 報告者

2. すべての SQL サーバーアプリケーションを削除します。

   SCIEX OS 1.6.1 以降のバージョンでは、次のアプリケーションを削除してください。

   - Microsoft SQL Server 2008 セットアップサポートファイル
   - Microsoft SQL Server 2012（64 ビット）
   - Microsoft SQL Server 2012 ネイティブクライアント
   - Microsoft SQL Server 2012 セットアップ（英語）
   - Microsoft SQL Server 2012 Transact_SQL ScriptDom
   - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
   - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
   - SQL Server Browser for SCL Server 2012
   - Microsoft VSS Writer for SQL Server 2012

   SCIEX OS 1.5 以前のバージョンでは、次のアプリケーションを削除してください。

   - Microsoft SQL Server 2008 R2（64 ビット）
   - Microsoft SQL Server 2008 R2 ネイティブクライアント
   - Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ（英語）
   - Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップファイル
   - Microsoft SQL Server Browser
   - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
   - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
   - Microsoft SQL Server VSS Writer

3. 次のフォルダにあるすべての SQL サーバーファイルをバックアップしてから削除します。

   - SCIEX OS 1.6.1 以降：
     `C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11.sqlexpress\MSSQL\Data`
   - SCIEX OS 1.5 以前：
     `C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data` または
     `C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10-50.sqlexpress\MSSQL\Data`

4. アプリと機能のコントロールパネルで、Microsoft Windows 用の更新プログラム（KB4054590）を削除します。

   これは.NET 4.7.2 です。

5. (必要に応じて) アプリと機能のコントロールパネルで、以下のソフトウェアを削除します。

   - BPV Flex ソフトウェア

- BioPharmaView ソフトウェア
- MetabolitePilot ソフトウェア

6. 次のフォルダをバックアップしてから削除します。
   - `C:\Program Files\SCIEX\LibraryView`
   - `C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS`
   - `C:\SCIEX OS Data`
7. 次のフォルダを削除します。
   - `C:\ProgramData\SCIEX`
   - `C:\Program Files\MongoDB`
8. コンピュータを再起動します。
9. Windows サービスのコントロールパネルを開き、リストに SQL サービスまたは LibraryViewHost サービスがないことを確認します。
10. ClearCore2 サービスが Windows サービスのコントロールパネルにある場合は、コマンドプロンプトウィンドウを開き、次のコマンドを入力して、**Enter** を押します。

    sc DELETE "Clearcore2.Service.exe"
11. ソフトウェアを再度インストールし、プロンプトが表示されたらコンピュータを再起動します（該当する場合）。
12. (必要に応じて)ステップ 5 で削除したソフトウェアをインストールします。
    - BPV Flex ソフトウェア
    - BioPharmaView ソフトウェア
    - MetabolitePilot ソフトウェア

質量分析装置のファームウェアバージョン A

質量分析装置	ファームウェアアプリケーションのバージョン	Configuration Table のバージョン
X500R QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500R_v0_r04
X500B QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500B_v0_r03
ZenoTOF 7600 システム	AION_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_Zeno-TOF-7600_ICX2_v0_r05
SCIEX Triple Quad 4500 システム	PIL2004	FWTripleQuad4500R22.fw
SCIEX Triple Quad 5500 システム	PIL2004	FWTripleQuad5500R08.fw
SCIEX Triple Quad 5500+システム	PIL2004	FWTripleQuad5500+R02.fw
SCIEX Triple Quad 6500 システム	PIL2004	FWTripleQuad6500R05.fw
SCIEX Triple Quad 6500+システム	PIL2004	FWTripleQuad6500+R04.FW
SCIEX Triple Quad 7500 System – QTRAP Ready	PIL2004	FWTripleQuad7500QTRR02.FW

デバイスとファームウェア B

SCIEX OS 2.2 は、以下の表に記載された装置をサポートしています。

ほとんどの場合、装置メーカーからの最新ファームウェアバージョンは、SCIEX OS 2.2 に適合しています。問題が発生した場合、装置のファームウェアをこの表に記載されたバージョンに変更してください。ファームウェアの確認とアップグレードについては、装置の製造メーカーが提供するドキュメントを参照するか、SCIEX フィールドサービスエンジニア（FSE）にお問い合わせください。装置のインストールと設定については、*『装置セットアップガイド』*のドキュメントを参照してください。

注: Waters ACQUITY UPLC システムのドライバーについては、Waters サポートにお問い合わせください。

表 B-1 : Echo MS システム

装置コンポーネント	ファームウェア
Echo MS モジュール [1]	1.1.0

表 B-2 : ExionLC 2.0 システム

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
LPG Pump	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet
Autosampler	AS-200	1.21	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.21	Ethernet
Column Switching (バルブ駆動)	DR-200	6.12	Ethernet
Column Oven	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.1	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.1	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.23	Ethernet

[1] ファームウェアのアップグレードが必要な場合は、FSE にお問い合わせください。

表 B-3 : ExionLC AC/ExionLC AD システム

周辺装置	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
ExionLC Controller	2.0、3.01、3.40	Ethernet
ExionLC AC Pump	2.04	光ファイバー
ExionLC AC Autosampler	2.05、3.12	光ファイバー
ExionLC AC Column Oven	3.21	光ファイバー
ExionLC AD Pump	2.04、3.11、3.21	光ファイバー
ExionLC AD Autosampler	（3.12）	光ファイバー
ExionLC AD Multiplate Sampler	(3.15)	光ファイバー
ExionLC PDA Detector	4.02	Ethernet **注:** PDA 検出器には、システムコントローラと測定用コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。*ExionLC PDA 検出器オペレータガイド* のドキュメントを参照してください。
ExionLC UV Detector	2.03	光ファイバー
ExionLC Rack Changer	（2.0）	光ファイバー
ExionLC Degasser	—	—
ExionLC Solvent Selection Valve	—	—

表 B-4 : Agilent 1290 Infinity および Infinity II の装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
1290 Infinity 装置			
Binary Pump	G4220A	A.06.73、B.07.01	Ethernet または CAN
標準オートサンプラー	G4226A	A.06.54、A.07.01	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
カラムコンパートメント	G1316C	A.06.53	CAN
DAD	G4212A	A.06.73、B.06.30	Ethernet

表 B-4 : Agilent 1290 Infinity および Infinity II の装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
1290 Infinity II 装置			
高速ポンプ	G7120A	(B.07.10)	CAN または Ethernet
フレキシブルポンプ	G7104A	B.07.10	CAN または Ethernet
マルチサンプラー	G7167B	D.07.17	CAN または Ethernet
マルチカラムサーモスタット	G7116B	D.07.10	CAN
DAD	G7117B	D.07.23、D.07.10	Ethernet

表 B-5 : Agilent 1260 Infinity II 装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
Infinity II サンプラー			
フレキシブルポンプ	G7104C	B.07.25	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
Binary Pump	G7112B	—	CAN または Ethernet
クォータナリポンプ	G7111B	D.07.24 (D.07.13)	CAN または Ethernet
バイオイナートサンプラー	G5654A	D.07.13	CAN または Ethernet
Vialsampler	G7129C	D.07.26	CAN
マルチサンプラー	G7167A	D.07.25、D.07.16	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
バイオイナートマルチサンプラー	G5668A	D.07.16	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
マルチカラムサーモスタット	G7116A	D.07.13, D.07.16	CAN
DAD	G7117C	D.07.10	Ethernet
DAD WR	G7115A	D.07.25	Ethernet

表 B-5 : Agilent 1260 Infinity II 装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
FLD スペクトル(バイオイナート)	G7121B	D.07.25	Ethernet

表 B-6 : Shimadzu 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
CBM-20 A、Ethernet スイッチ付き（システムコントローラ、8 つの光ファイバーポート付き）	2.81、3.01、3.11、3.31 (3.61)	Ethernet
CBM-40 システムコントローラ	0.31、1.30	Ethernet
CBM-40 Lite システムコントローラ	(1.30)	Ethernet
SCL-40 システムコントローラ	1.30	Ethernet
SIL-20ACXR Autosampler	2.05 (1.20、1.22、1.23、1.25)	光ファイバー
SIL-30AC Autosampler	3.12	光ファイバー
SIL-30ACMP Autosampler	3.15	光ファイバー
SIL-40 Autosampler	(1.05)	光ファイバー
SIL-40C Autosampler	(1.05)	光ファイバー
SIL-40C X3 Autosampler	1.04、1.05	光ファイバー
SIL-40C XR Autosampler	1.05	光ファイバー
LC-20AB バイナリ溶剤供給ユニット	—	—
LC-20AD ポンプ	3.11 (1.04、1.10、1.07)	光ファイバー
LC-20AD XR Pump	(1.20、1.21)	光ファイバー
LC-20AT 溶剤供給ユニット	—	—
LC-30AD Pump	3.11、3.21	光ファイバー
LC-40D	(1.04)	光ファイバー
LC-40D XR	1.04	光ファイバー
LC-40B XR	(1.04)	光ファイバー
LC-40D X3	(1.04)	光ファイバー

表 B-6 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
LC-40B X3	1.04	光ファイバー
CTO-20AC Column Oven	2.03、2.10	光ファイバー
CTO-40C Column Oven	1.00	光ファイバー
CTO-40S Column Oven	1.00	光ファイバー
SPD-20A UV-VIS Detector	1.04	光ファイバー
SPD-40V UV-Vis Detector	1.04	光ファイバー
SPD-M30A UV 検出器	3.11、4.02	Ethernet **注:** 検出器には、システムコントローラと測定用コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。
SPD-M40 Detector	2.00	Ethernet **注:** 検出器には、システムコントローラと測定用コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。
RF-20A XS Fluorescence Detector	2.02	光ファイバー
FCV-12AH Valve	—	—
FCV-13AL Valve	—	—
FCV-32AH Valve	—	—
FCV-0206[H/H3]ドライブ付き流路選択バルブ	—	—
FCV-0607[H/H3]ドライブ付き流路選択バルブ	—	—
ドライブ付き FCV-S 流路選択バルブ（1 ボックス、1 バルブ）	1.02	—
ドライブ付き FCV-BOX 流路選択バルブ（1 ボックス、1 バルブ）	1.02	—
FCV-DR（ドライブ）	1.02	—
LPGE-40（ミキサーなし）	1.02	—

表 B-6 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア（および他のファームウェア）	必要な通信ケーブル
LC-40 リザーバースイッチングバルブ	1.02	—
FCV-11ALS LC-40 用溶剤選択バルブ(1 ポンプ)	1.02	—
FCV-11AL LC-40 用溶剤選択バルブ(3 ポンプ)	1.02	—
Rack Changer II	2.0	光ファイバー
Nexera プレートチェンジャー	1.05	—

Windows オペレーティングシステム設定 C

英語のみがサポートされています。

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語の地域がサポートされています。

注: コンピュータがインターネットに接続されている場合は、sciex.com/productsecurity のガイドラインに従ってください。システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、十分なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。

Windows の更新

重要なセキュリティパッチがインストールされていることを確認することは、コンピュータのセキュリティを維持するために不可欠です。Windows Update の設定と使用については、以下のガイドラインに従ってください。

- （Windows 10）Windows Update のみを通知するように設定します。更新を自動的にダウンロードしてインストールしないでください。
- 通知を受け取ったら、できるだけ早く更新をダウンロードしてインストールしてください。
- 更新をインストールする際は次のことにご注意ください。
  - 取得と処理が完了するまで待ちます。
  - デバイスを非アクティブ化し、ClearCore2 サービスを停止します。
- すべての更新をインストールします。更新の結果として問題が発生した場合は、できるだけ早く報告してください。

システムの復元

デフォルトでは、Windows タスク スケジューラは、深夜とコンピュータの起動時にシステムの復元タスクを実行します。インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にして、IDA モードでの取得パフォーマンスを最適化します。

システムの復元サービスがアクティブな場合、システムの速度が低下することがあります。IDA モードでの取得中にアクティブになると、サイクル時間が長くなり、ミリ秒から秒に増加する可能性があります。これにより、クロマトグラフィーのピーク全体でポイントが少なくなる可能性があります。そのため、最適なパフォーマンスを得るためには、システムの復元を無効にすることをお勧めします。

注: システムの復元は、通常の操作やデータ処理のパフォーマンスには影響しません。

ユーザーアカウント制御の設定

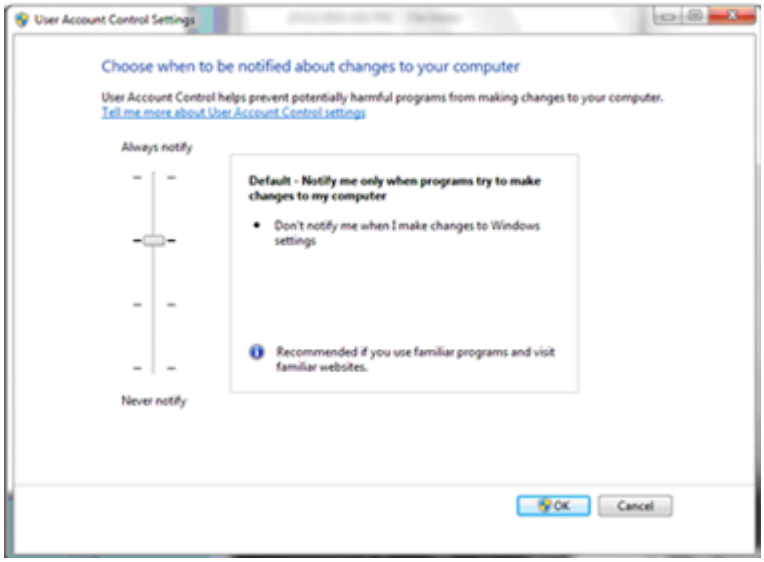
ユーザーアカウント制御の設定（Windows 7）

SCIEX OS が Windows 7、64 ビットにインストールされている場合は、ユーザーアカウント制御のデフォルト設定を使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Default - Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

測定用コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

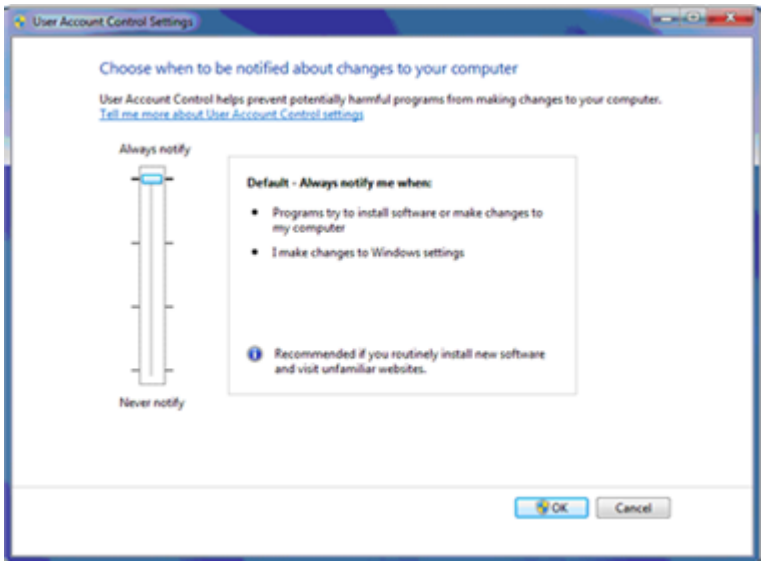
1. コントロールパネルを開きます。
2. **System and Security** > **Change User Account Control settings** をクリックします。
3. **User Account Control Settings** ダイアログで、スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Default – Notify me only when programs try to make changes to my computer** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-1：管理者のユーザーアカウント制御設定



5. 標準ユーザーの場合は、**Default – Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-2：標準ユーザーのユーザーアカウント制御設定



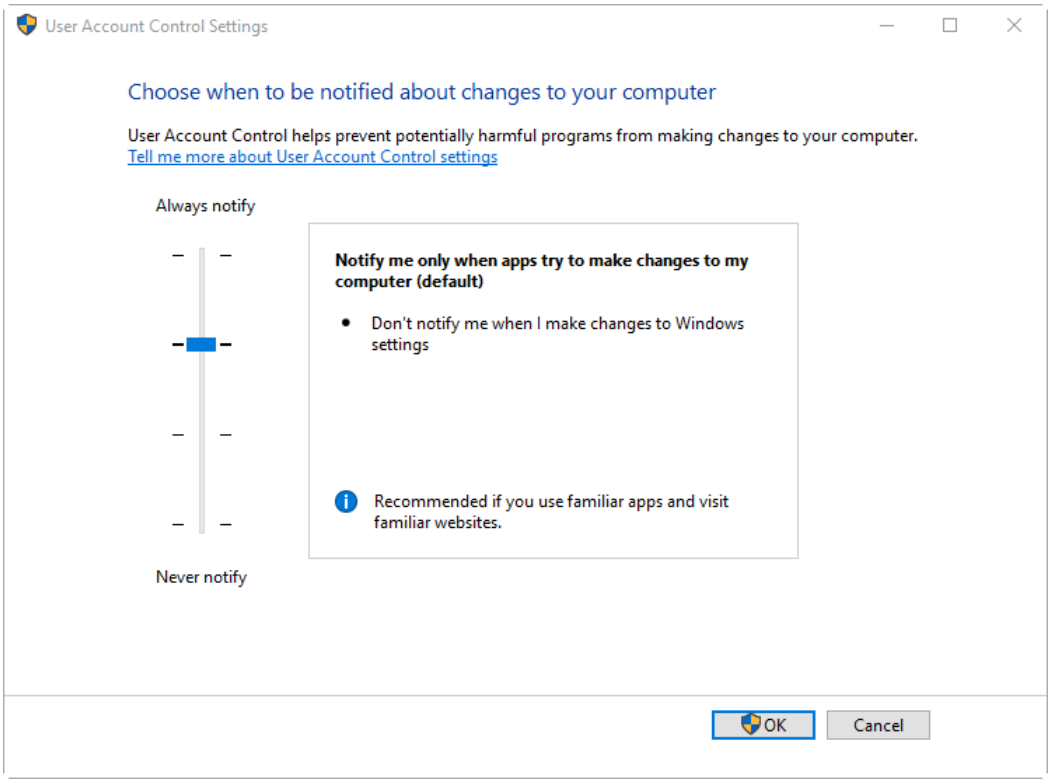
ユーザーアカウント制御の設定（Windows 10）

SCIEX OS が Windows 10、64 ビット、オペレーティング システムにインストールされている場合は、ユーザーアカウント制御のデフォルト設定を使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

測定用コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

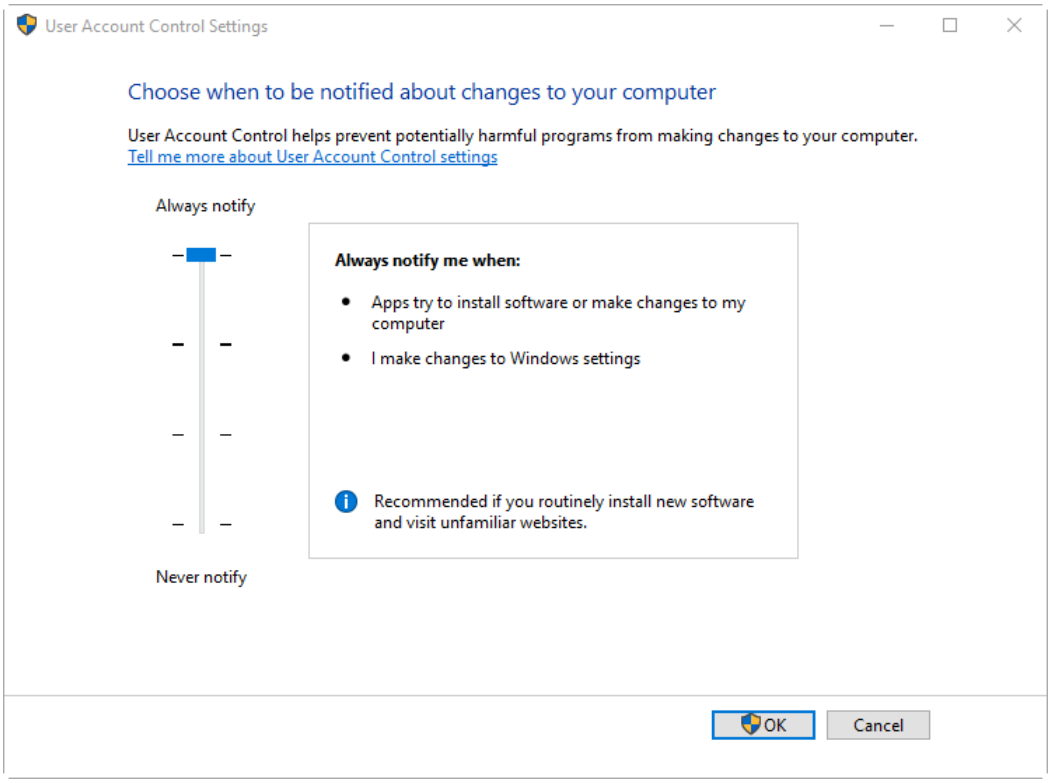
1. コントロールパネルを開きます。
2. **Security and Maintenance** > **Change User Account Control settings** をクリックします。
3. **User Account Control Settings** ダイアログで、スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Notify me only when programs try to make changes to my computer (default)**を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-3：管理者のユーザーアカウント制御設定



5. 標準ユーザーの場合は、**Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-4 : 標準ユーザーのユーザーアカウント制御設定



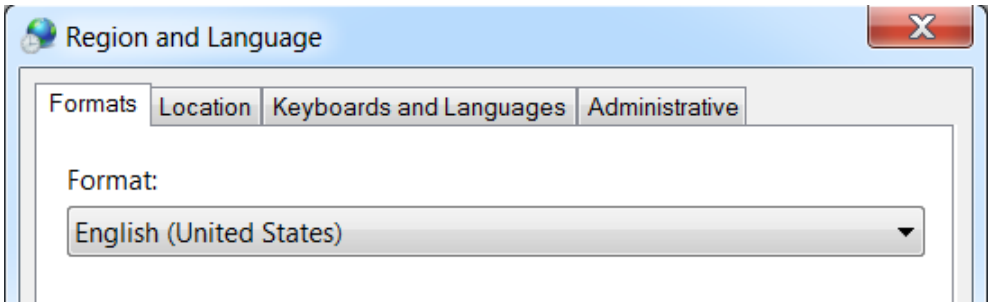
地域と言語設定

地域と言語の設定（Windows 7）

注: Format フィールドと **Default input language** フィールドを異なる値に設定すると、ソフトウェアがファイル情報または監査証跡情報を誤って表示する可能性があります。

- Region and Language コントロールパネルを設定します。
  1. **Format** フィールドを英語（米国）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）に設定します。

     図 C-5 : Region and Language ダイアログ：Windows 7 オペレーティングシステム

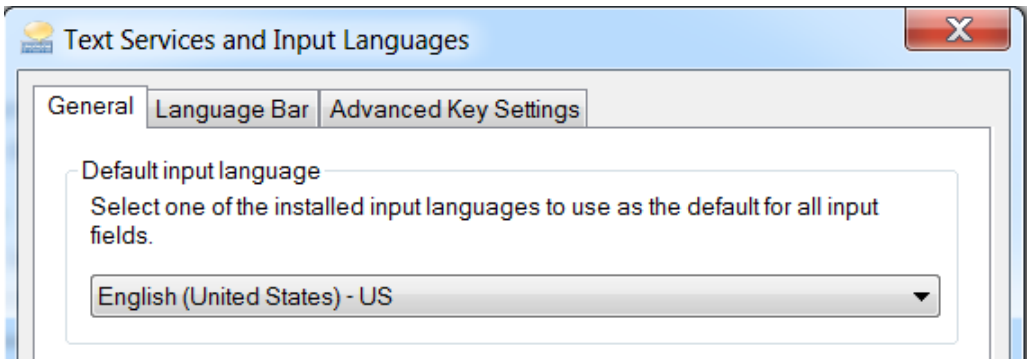
  2. Keyboards and Languages タブをクリックし、**Change Keyboards** をクリックします。

3. **Apply** をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

- コントロールパネルの Text Services and Input Languages を設定します。

1. General タブで、デフォルトの入力言語として **English (United States) - US** を選択します。

図 C-6 : Text Services and Input Languages ダイアログ - Windows 7 オペレーティングシステム



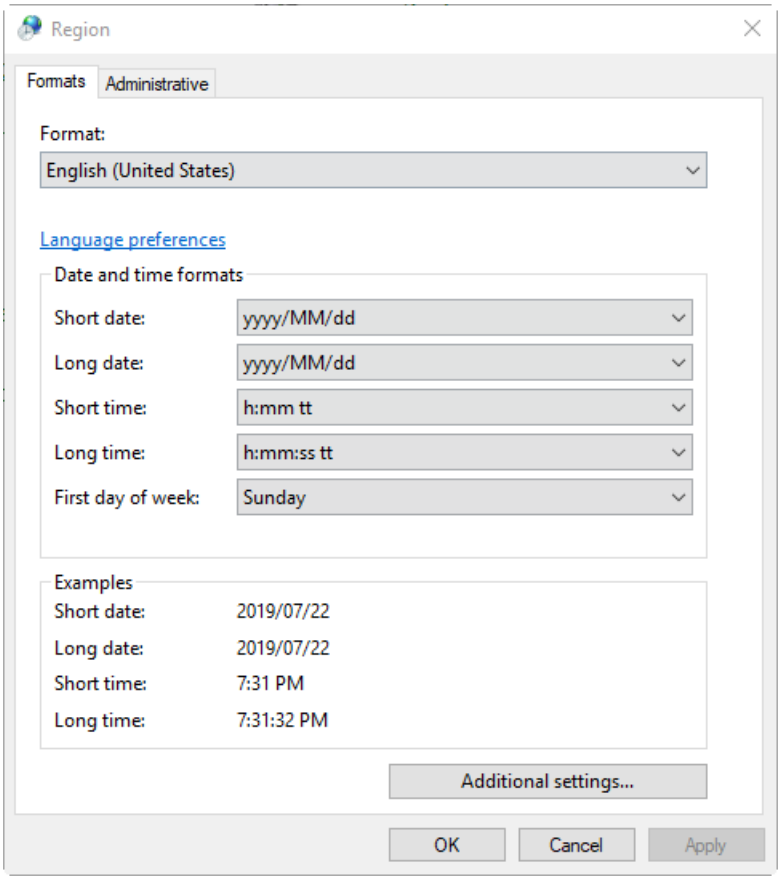
2. **Apply** をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

地域の設定（Windows 10）

注: Format フィールドを別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Region** をクリックします。

図 C-7 : [地域]ダイアログ



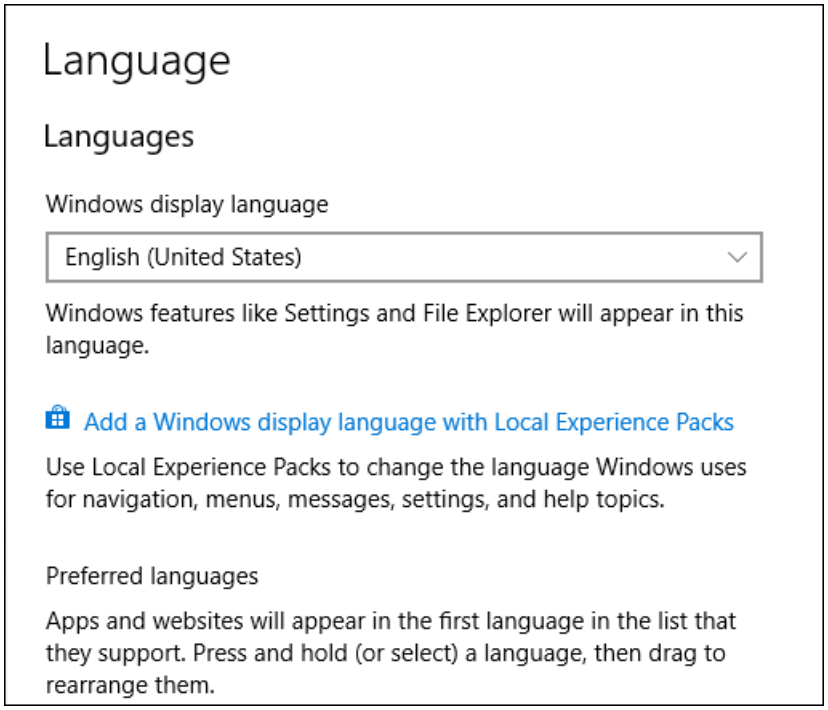
3. **Format** フィールドが英語（米国）、フランス語（フランス）、またはドイツ語（ドイツ）に設定されていることを確認してください。
4. **Apply** をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

言語の設定（Windows 10）

注: Windows display language を別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Region** をクリックします。
3. **Language preferences** をクリックします。

図 C-8：言語ダイアログ：Windows 10 オペレーティングシステム

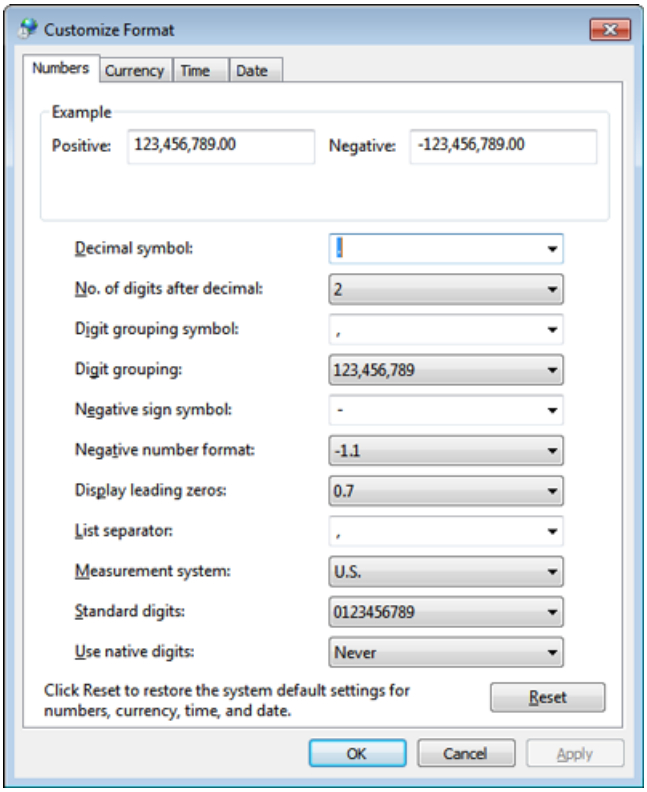


4. **Windows display language** には、**English (United States)**を選択します。

ローカル設定

次の図に示すローカル設定のみがサポートされています。

図 C-9 : ローカル設定



ラベル	SCIEX OS でのサポート
Decimal symbol	「.」または「,」がサポートされています。
No. of digits after decimal	SCIEX OS の数値形式で制御されます。
Digit grouping symbol	サポートされていません。
Digit grouping	サポートされていません。
Negative sign symbol	SCIEX OS によって制御されます。
Negative number format	サポートされていません。
Display leading zeros	サポートされていません。
List separator	サポートされていません。
Measurement system	サポートされていません。
Standard digits	サポートされていません。
Use native digits	サポートされていません。

SCIEX OS ドキュメント D

SCIEX OS と共にインストールされるソフトウェアガイドのリストについては、次を参照：表 D-1。これらのガイドには、次の場所からアクセスできます。

- （Windows 10 オペレーティングシステム）**Start** > **SCIEX OS**
- （Windows 7 オペレーティングシステム）**Start** > **All Programs** > **SCIEX OS**

ソフトウェアガイドとチュートリアルは「<drive>:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Documentation\」にインストールされています。

表 D-1：ソフトウェアドキュメント

文書	説明
ソフトウェアインストールガイド	ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
リリースノート	新機能とソフトウェアに関する問題が記載されています。
ソフトウェアユーザーガイド	SCIEX OS のセットアップ、メソッドの作成、サンプルの測定、データの分析に関する手順が示されています。
ラボ管理者ガイド	SCIEX OS のセキュリティおよび監査機能について説明します。
ヘルプシステム	SCIEX OS のセットアップ、メソッドの作成、サンプルの測定、データの分析に関する手順が示されています。

ハードウェアガイドは、システムとイオン源の *Customer Reference* DVD 上でも配布されています。次の表に、これらのガイドを示します。

表 D-2：ハードウェア文書

文書	説明
システムユーザーガイド	質量分析装置の操作やメンテナンス、SCIEX OS の使用に関する情報が記載されています。
有資格保守要員ガイド	質量分析装置のクリーニングとメンテナンス手順について示されています。 **注:** 本ガイドの手順を実行できるのは、有資格者のみです。
装置セットアップガイド	周辺装置をコンピュータや機器に接続する手順が示されています。
設置計画概要書	設置場所の準備方法、および機器の設置に必要な資料について説明します。

表 D-2 : ハードウェア文書 (続き)

文書	説明
Turbo V イオン源オペレータガイド	(X500 QTOF および ZenoTOF システム)イオン源の取り付け手順について説明します。
IonDrive Turbo V イオン源オペレータガイド	イオン源の取り付け手順について説明します。
OptiFlow Turbo V イオン源オペレータガイド	(ZenoTOF システム)イオン源の取り付け手順について説明します。
OptiFlow Pro イオン源オペレータガイド	(SCIEX 7500 システム)イオン源の取り付け手順について説明します。

注: ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト(sciex.com/customer-documents)で入手できます。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米：NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ：Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外：sciex.com/education

オンライン学習センター

- SCIEX Now Learning Hub

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守／技術専門要員を世界中に有しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX ウェブサイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、https://get.adobe.com/reader にアクセスします。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントに付属の *カスタマーリファレンス* DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト（sciex.com/customer-documents）で入手できます。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。